

第15章 福島県立美術館

第1節 概要

開館13年を迎えた福島県立美術館は、さまざまなテーマによる展覧会をはじめ、各種講座等の普及事業を開催し、さらに、美術の情報センターとしての機能の充実に努めてきた。

また、美術品の収集・保存とともに広範な調査研究活動をすすめて、成果の蓄積に努力してきた。

当年度の美術館活動の概要は、次のとおりである。

1 美術館運営協議会

(1) 委員

- 秋山 忠也 福島県中学校教育研究会美術専門部長
(8.10.19～)
- 鳴原 守 福島県高等学校教育研究会美術工芸部
会長 (8.10.19～)
- 新妻 威男 福島県文化センター館長
(8.10.19～)
- 西村 榮悟 福島県美術家連盟評議員
(9. 1. 1～)
- 西間木 セツ子 福島県市町村教育委員会連絡協議会員
(7. 1. 1～)
- 伊藤 昌太 福島大学教育学部長 (7. 1. 1～)
- 神林 喬 日本放送協会福島放送局長
(9. 1. 1～)
- 湯浅 孝子 財団法人湯浅報恩会理事長
(9. 1. 1～)
- 酒井 哲朗 三重県立美術館長 (7. 1. 1～)
- 伴場 忠彦 福島県議会議員 (7. 1. 1～)

(2) 協議会の開催

- ① 期 日 平成9年2月27日
- ② 内 容 ・平成8年度事業実績について
・平成9年度予算の概要について
・平成9年度事業計画の概要について
・福島県立美術館の運営について

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および美術館連絡協議会等との連携を図り、運営、企画展、教育普及、調査研究等に関する情報交換並びに研修をすすめた。

(1) 加盟団体

- ・ 全国美術館会議 (監事)
- ・ 美術館連絡協議会 (理事)
- ・ 日本博物館協会 (会員)
- ・ 日本博物館協会東北支部 (監事)
- ・ 東北地区博物館協会 (監事)
- ・ 福島県博物館連絡協議会 (理事)

(2) 研修受け入れ

- ・ 博物館実習 平成8年7月2日～7月7日(実習生5名)

第2節 美術品の収集・保存

美術品等の情報収集をすすめ、購入および企画展出品作品の寄贈を受けるなど収蔵品を充実した。また、収蔵品や資料の保全を図り、他館への貸出についても協力した。

1 収蔵品点数一覧

(平成9年3月31日現在)

種 別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外(絵画・ 版画・彫刻)	点 222	点 10	点 0	点 232
日 本 画	57	66	115	238
洋 画	84	98	98	280
版 画	104	438	40	582
彫 刻	2	4	48	54
工 芸	14	9	33	56
書	0	1	36	37
下 絵 等	0	14	11	25
合 計	483	640	381	1,504

2 収集評価委員会

委員の次の方々に委嘱し、1回開催した。

(1) 委員

- 内山 武夫 東京国立近代美術館次長
(H 4. 4～)
- 桑原 住雄 武蔵野美術大学教授
(S55. 4～H 8.10)
- 佐藤 光 元福島県教育長
(S55. 4～H 8.10)
- 原田 実 平塚市美術館長
(H 4. 4～)
- 三木 多聞 徳島県立近代美術館長
(S55. 4～)
- 村田 哲朗 郡山市立美術館長
(H 8. 11～)
- 真室 佳武 東京都美術館長
(H 8. 11～)

(2) 委員会の開催

- ① 期 日 平成8年11月21日
- ② 内 容 ・購入候補作品について
・受贈作品について